

職場第一線で実践

事故根絶に向け労使一体の取り組み



会議もよう

はじめに、会社側より、上期の状況報告があり、九州管内の事故発生件数は、前年同程度であるものの、転倒事故が多発傾向にある、要健康管理者数および精神疾患患者数は減少しているものの、50歳以上の男性や管理

11月9日、2016年度安全衛生対策会議(下期)を開き、九州ブロックにおける上期の振り返り、および下期の取り組みについて論議を行なった。

者の罹患者が増加傾向にある——などの現状をふまえた課題認識および上期に取り組んだ各種施策の結果などについて説明を受けた。

次に、下期の取り組みの提起があり、下期において、上期の施策を継続的に実施していくことを基本に、安全意識のさらなる醸成および基本動作の指導・徹底、社員一人ひとりの安全意識行動の再徹底——など新たな取り組みについて説明を受けた。



意見を述べる野付執行委員

その後の論議では、他ブロックで発生した重大事故等の共有のあり方や九州ブロックでの対策等の展開についての検討、増加傾向にある転倒事故等の原因分析・状況把握をふまえた具体的再発防止策、非正規社員の要健康管理者数の把握

熊本地震における熊本

本勤務以外の被災者への対応、人間ドックを受検しやすい環境整備の検討等について論議を行ない、今後の取り組み等について労使で認識を合わせた。

最後に総支部より、九州管内で重大事故は発生していないものの、他ブロックでは死亡事故を含む重大事故が多発していることから、強い危機意識を持ち、事故の未然防止に向け労使一体となり「類似

旬感

働く者のため



副委員長(熊本エリア) 山本 寛

解散総選挙の動きが活発化してきている。

自民党は、自民党総裁任期を「連続3期9年まで」とする方針を決定した。選挙制度改革により議員定数が見直される前(現定数のうち)に総選挙を行ない、人気が高い「安倍首相」のもとで現職の延命を図り、安定的かつ継続的な政権運営を狙っているものだと考えられる。今後の外交(特にロシア外交)等の状況次第ということはあるだろうが、私たち労働組合は、労働者の「犠牲」の上に経済成長を図ろうとする「安倍

政権」、真の人権・平和を履き違えている「安倍政権」に対峙していくためには、次期総選挙で負けるわけにはいかない。

しかし、ここにきて、腹立たしいことに、政策でつながっているはずの連合と民進党が、どうもしっくりいっていない。自民党からの揺さぶりもあるようだ。私自身、答えを持ち合わせてはいないが、まじめに働く者のため、連合がどのようなスタンスを持つべきで、民進党に何を求めるのか、この機会にしっかり考えてみたい。我々のために。

今後、総支部段階での論議をふまえ、分会「職場安全衛生委員会」などを通じ、職場第一線での実践を図っていくこととする。

はっちゃんねる

夢は東京マラソン

11月に入った。13日(日)の福岡マラソンまで2週間を切った。週末を中心に走り込みをやってきたが、その努力が報われ、目標タイムを達成できることを祈るのみだ。ところで、今年初め「東京マラソン」にエントリーした。倍率12倍だったから無理かなとは思いつつ、いちろの望みを抱いて結果を待っていた。結果は「ご期待にそえませんでした」との回答だった。さすがに東京マラソン人気の高さを痛感した。何年かかるか、わからないがエントリーし続けたいし、目標タイム達成のための努力も継続していきたい。さて、この原稿が皆さんの目にとまる時には福岡マラソンの結果は出ている。果たして目標達成となつたのか否か?お楽しみ!

(北村 清則)

労働時間の適正化に向け論議

ゆとり働き甲斐推進委員会

総支部は11月9日(水)に2016年度(下期)「ゆとり働き甲斐推進委員会」を開き、労働時間のさらなる適正化に向けた取り組みなどについて論議を行なった。

はじめに、会社側より2016年度上期の取り組みとして、マネジメントの強化による服務管理の徹底、時間外労働の適正化および長時間労働の縮減に向けた取り組み、計画的な休暇取得の促進——などに取り組んできたところである。

今後においても、各職場と連携し、労働時間の適正化に向け取り組みを実施していきたいとあいさがあった。次に、九州カンパニ

ー全体としての上期の振り返りと下期の重点取り組みについて説明があった。その後の論議では、年休取得制



委員会もよう

度の理解促進に向けた社員周知のさらなる徹底、恒常的な長時間労働の是正に向けて業務の平準化や社員意識の醸成に向けた取り組みの展開、労働時間縮減に向けたマネジメントの推

進や管理体制の充実による服務管理のさらなる徹底——などについて論議を行ない、組合員・社員のワーク・ライフ・バランスの推進および適正な服務管理の徹底に向けた取り組みの強化について認識を合わせた。

最後に総支部より、光コラボの開始・拡大など事業環境の変化に伴い、組合員・社員の業務内容も変化している。このような中、労働時間の適正化に向けては、システム化や業務の簡素化など、効果的・効率的な業務のしくみづくりについて、西会社とも連携した検討促進をお願いするとともに、組合員・社員の意識の醸成など労使が一体となつて取り組みなければならぬ事項であることから、引き続きの連携した取り組みを要請する——と述べ、

委員会を終了した。九州阻止部は、11月および2月、3月を「労働時間適正化強化月間」に設定し、組合員への意識啓発や分会とも連携し取り組みの強化を図っているところである。今後においても、労働時間のさらなる適正化に向け対応していくとともに、ワーク・ライフ・バランスの推進などさまざまな取り組みを展開していく。

NTT労組は

世良 俊明 (北九州市小倉北区)

佐藤 真二 (熊本県大津町)

を応援しています



世良 俊明

北九州市議選 (小倉北区)

1月施行予定



佐藤 真二

大津町議選

2月施行予定



研修もよう

Goライフコース開催

沖縄分会では、分会独自の教育コースを実施しており、50歳の組合員を対象に、ライフプランやマネープランを学習する「Goライフコース」、60歳の組合員を対象に、退職後も

生き生きとしたライフプランを学習する「フロンティアコース」を毎年開催しています。11月2日、那覇市内において、「Goライフコース」を開催しました。



参加者の皆さん



砂川分会長の開会あいさつの後、講師として招いた 沖縄県労働金庫・宮城一生きんより「確定拠出年金(個人型)の商品について、一級ファイナ

ナショナル・プランニング技能士の米須力さんより「知らなきや損するお金の話」、元社会人野球選手の砂川正美さんによる「夢叶える黄金の五ヶ条」をテーマに講演が行なわれました。賢い貯蓄の方向性について、今後のライフワークについて考える有意義なものとなりました。(佐次田 篤)